

アフターコロナの PCR 装置活用の提案 ～検査センターからの提案～

◎宮本 照美¹⁾

株式会社キューリン¹⁾

弊社では、新型コロナウイルス検査を日本ベクトン・ディッキンソンの BD MAX と東洋紡の GENECUBE を用いて検査を行っています。2020年4月より、BD MAX を一台導入して検査を開始しましたが、新型コロナウイルス検査数の増加により、2020年7月に BD MAX をもう一台追加し、検査を行っていました。順調に検査出来ていましたが、第6波の時、BD MAX の試薬供給がストップする事態が発生し、しばらく検査が出来ず、その間、大手の検査センターに検査をお願いする事態となりました。検査センターが検査できないという事態を招かないように、その当時、試薬切れは起こさないと言われていた GENECUBE を2022年2月に導入し、現在、3台で新型コロナウイルスの検査を行っています。

アフターコロナにおいて、BD MAX を検査機器として用いるならば、日本ベクトン・ディッキンソンが体外診断用医薬品として出している試薬が新型コロナウイルス検査以外では1件しか検査項目がありません。元々、BDMAX は研究用の機器ですので、研究用の試薬の方が多く販売されています。このため、その1件の検査をしなければ、検査機器としては使用不可能となります。日本ベクトン・ディッキンソンから新たな検査項目の販売を期待しているところです。

GENECUBE については、元々、医療用機器として販売されていますので、新型コロナウイルス検査以外に TB、MAI、クラミジア、淋菌など検査できる種類が豊富であり、アフターコロナにおいても、他の検査を測定する機器として十分設定可能です。一部の検査項目で、別途機器の購入が必要なものもありますので、導入の際は注意が必要です。

新型コロナウイルス検査機器の導入に当たり、検査する人の安全面、検査の容易さに特化して導入を決めた BD MAX は、アフターコロナで検査できる項目が1件のため、検査機器としての使用は難しいものでした。一方、GENECUBE は新型コロナウイルス検査以外にも検査できる項目があるため、アフターコロナでも検査機器として十分使用可能なものだと考えます。